

●平成 25 年度第 3 回 いばらきエコプラットホームのまとめ

1. 開催概要

- 開催日時：平成 26 年 3 月 24 日(月) 16:00～17:30
- 開催場所：茨木市役所 本館 6 階 第 2 会議室
- 参加者数：12 名（内、事務局関係者 4 名）
- 団体：7 団体
- 内容 ①前回のふりかえ
 - ②情報交換・取組紹介
エコプラットホーム参加団体の今後の予定と活動報告
 - ③意見交換 テーマ①：「エコグランプリいばらき」を終えて～
テーマ②：「いばらきエコプラットホーム」の今後に向けて

2. 意見交換

①「エコグランプリいばらき」を終えて

●良かったところ

- ・人が見えて良かった。提案内容よりも人・家族・生活が魅力的
- ・「来て良かった」と感じた人が多かった
- ・自分の知らない様々な取り組みがあることが分かったこと
- ・参加者が多様であったこと（主婦、生徒、企業、企業 OB）
- ・若い人の発表があって未来への希望が持てた
- ・エコへの多様なアプローチが知れた

●もっと良くするための提案

- ・もっと多くの方が聞いている場で発表できると良い（ダイジェスト版を夏祭りなどで）
- ・エコグランプリ終了後や開催中に発表者と市民が交流できる時間
- ・応募した作品は発表時間を短縮しても全て発表した方が良いと思う
- ・市民の方からの情報発信（プレゼンテーション）する場を多く持ってはどうか

●見直した方がよいポイントとその改善策

- ・部門の 2 つの区分（チャレンジ、アイデア）が明確ではなかった
 - チャレンジやアイデアの意義を明示する。
 - 分け方の工夫（ピフオー・アフター、住環境・その他、提案・取り組み事例など）
- ・一般参加者の質問時間も欲しかった
 - 質疑応答の時間に一般参加者も参加できるようにする
 - フロアで出た話を発表者から紹介してもらう
- ・応募した作品は発表時間を短縮しても全て発表した方が良いと思う

②「いばらきエコプラットホーム」の今後に向けて

●テーマ

- ・環境に良い取り組みの普及（共通点）
- ・自由（エネルギー、生物、ごみ、CO2 排出量）
- ・茨木市での市民の取り組み
- ・エコを普及するには
- ・実践！！エコ活動

●があると楽しい/参加したくなる

- ・1～3を具体的に展開できると良い、共通点を抽出する。
 1. 過程：新しい取り組みが生まれる（ものになる）
 2. 啓発・教育：興味を持っていた人、必要性があった人が取り組みをまねする（生活スタイルになる）
 3. 基盤づくり；機会がある人が取り組みをまねする（よいしくみ、一般的なスタイルになる）

→具体的な取り組み、但しそれだけでは終わらないように2、3をサポートするしくみをつくる
ところまで、可能であれば、2、3の事例

- ・新しい発見（エコグランプリのような）早寝・早起きも何かにつながる
- ・省エネ・省CO2などに取り組んでおられる事業所などの見学会を実施する
- ・事例報告、効果の検証があると楽しい
- ・プレゼンテーションがあると楽しい

●必要な仲間

- ・決まったメンバーと一般参加の人
- ・若い人、学生
- ・コアメンバー+ゲスト

●平成 25 年度をふり返って・・・

いばらきエコプラットホームは、平成 24 年 3 月に策定された「茨木市地球温暖化対策実行計画」の推進体制として、市民・事業者・学校等と市の連携、情報交換の場として、また、将来的には、新たな取り組みが生まれることを期待して平成 25 年度に立ち上げました。

平成 25 年度は、3 回（平成 25 年 10 月 9 日、12 月 18 日、平成 26 年 3 月 24 日）開催し、平成 26 年 2 月に実施したエコグランプリ（省エネコンテスト）を主なテーマとして情報交換を行うとともに、参加者の皆さんの省エネ・省 CO2 に関する活動や課題等について話し合いました。

それぞれ違う立場からの見解や意見を聴くことにより、相互に新たな発見や刺激があったことが、平成 25 年度のいばらきエコプラットホームの成果であったと考えます。

また、エコグランプリでは、エコカフェの提案やダンボールコンポストによるごみ削減など、市内での市民・事業者・学校等のさまざまな取り組みが発表され、市民・事業者・学校等と市が連携し、省エネ・省 CO2 等の啓発を進めていくことが重要であることを再確認しました。

今後とも、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

